

## 2 巻頭言

## 特集論文

### 6 夜と死の時間

—F. スコット・フィッツジェラルドの『夜はやさし』における  
退廃と反復  
加藤雄二

### 22 ハン・マック・トゥーの形而上夜、 脱魂と血の詩作

野平宗弘

## 自由論文

### 42 変容する壁の内外

—村上春樹『街とその不確かな壁』を読む  
柴田勝二

### 56 コンセイサオン・エヴァリストの文学

—「エスクレヴィヴェンシア」と『ポンシア・ヴィセンシオ』  
武田千香

## 報告 (2023 年活動報告)

### 79 イタマール・ヴィエイラ・ジュニオール氏 講演録

(武田千香)

### 85 ワークショップ 「作家たちが語る大江健三郎」報告

中上健次が語った大江健三郎

中上紀

大江健三郎はスピノザをどう読んだか

蜷川泰司

(友常勉)

### 101 特別上映企画 「フランス映画と女たち」

(竹内航汰)

### 104 総合文化研究所ワークショップ 「核の記憶と想像力」開催報告

(長谷川健司)

## 書評

—— 訳者よりひとこと

### 108 マリー・ダリュセック著

『ここにあることの輝き

—パウラ・M・ベッカーの生涯』

自著紹介、および「トランスギャルド叢書」創刊に  
ついて

荒原邦博

### 111 アンナ・ラインスベルク著

『それぞれの戦い—エミー・バル＝ヘニングス、  
クレア・ゴル、エルゼ・リューテル』

女性が書く女性の文学史

西岡あかね

### 117 編集後記